**2017年11月 JWブロードキャスティング マンスリープログラム**

**ビデオの目的：**

エホバの組織が、執筆者の責任に基づき、出版物の内容をできるだけ正確に保つために払っている努力を伝える。（とりわけ陳述の正確さについて）⇒[ビデオを見る](https://tv.jw.org/#ja/mediaitems/WebHomeSlider/pub-jwb_201711_1_VIDEO)

1. **述べられている事実を裏付ける定評ある筋から、根拠を示さなければなりません。**
＊その資料に基づいて、内容全体をチェックします。
2. **資料の種類：百科事典、書籍、雑誌、新聞**
＊新聞よりも雑誌、雑誌よりも書籍、書籍よりも百科事典が望ましいと考える。
＊百科事典や書籍は改訂されるので、最新版を用いる。
＊信頼できる資料を使っている、という確信が無ければなりません。
3. **ある専門家の言葉を引用しているなら、調査メンバーはこう考えます。**
＊この専門家とは誰だろう
＊評判はどうだろうか？
＊特定の団体のために仕事をしていないだろうか？
＊その団体に隠れた思惑は無いか？
＊それは圧力団体ではないだろうか？
＊その団体の目的が疑問視されるならば、どんなに素晴らしい引用でも、用いることはできません。
4. **執筆者がある書籍から引用したいと思っているとしましょう。**
	1. 執筆者は大抵、その前後２～３ページも読めるように準備します。
	2. 調査メンバーは引用文の文脈を吟味し、私たちの出版物が、その本の著者の本当の言わんとしていることを示しているか、確認できます。
	3. 実例：進化論者が創造を支持しているかのように思える記述がある場合、文脈を見ると、その人の考えが正反対であることがわかる場合がある。
	4. 「**私たちは決して意図的に真意を捻じ曲げて引用しようとは思いません！必ず文脈に沿った形で引用できるよう、誠心誠意努力しています**」
5. **最新の研究に送れないようにする**
	1. 研究者たちの研究によって、真実が解明される場合がある。。
	2. 歴史上のある出来事に対する見方を調整されるとしても、驚くことではありません。
	3. 確認し、確認し、確認するのです。
6. **些細な点に拘る理由**
「木の専門家が、目ざめよ！誌の木に関する記事の正確性を高く評価し、研究が始まった。「この記事は非常に正確だ。木に関してこれほど注意深い組織なら、聖書を教えてくれる時も同じだろう。」